



説明できれば覚えられる

1本化されてはじめての千葉県公立高校入試は天候にも恵まれ、大きな混乱もなく無事終了しました。この塾の受験生たちは疲れているにも関わらず帰りにはみんなが再現答案を作成していただきました。その結果や千葉学習塾協同組合の情報部のデータなどから判断すると予想平均点は例年並みに落ち着きそうです。JCOMチャンネルの理科の入試解答・解説を担当した教室長の分析も同様です。地道に頑張ってきた中3のみなさんの合格を願っています。

さて、いきなりですが質問です。次の2つの文のうち、どちらが覚えやすいでしょうか。

力持ちの男性が、自分の友人がピアノを動かすのを手伝った。
力持ちの男が、朝食の間に新聞を読んだ。

実はこれは有名な研究で、小学校高学年くらいに質問した時、どちらを選ぶかが学習成績の良し悪しに関係していることがわかっています。普段あまり成績の良くない子は を選ぶのです。理由は単に「文章が短いから」です。ところが、成績の良い子は を選び、その理由も「力持ちであることはピアノを動かすことと関連するが、新聞を読むことは力持ちであることと全く関係がない」と明確に説明できます。関連性を持ったものの方が理解しやすい=物事は関連性を持たせて覚えると覚えやすいということがわかっているのです。むやみに丸暗記しようとすることは効果的学習法ではないのです。逆に効果的なのは、人に説明することです。説明できるというのは、覚えたことを各要素に分けてそれをまた組み立てられるということで、関連付けが自分の頭の中ですっきり整理されるのです。そうすれば後になって記憶の引き出しを開ける時にもスッと出てくるはず。この塾では「個別進度学習」が基本ですが、同じ学年・科目を学習する時には2・3人まとめて説明したりもします。するとその後で各自が問題を解きながら今度はお互いに説明しあう場面もあります。そんな時は口をはさまないようにしています。決して手抜きではありませんよ。それが最も効果的だからです！